



チームビルディング 気質からのアプローチ

生まれ持った「気質」は個性の原点にしっかりと根付いており、気質の違いは、思考や感情・行動に現れています。パワフルなチーム・マネジメントを目指すリーダーにとって、2000年の歴史をもつ「気質」からのアプローチは、古くて新しいストレスの少ない手法を教えてください。

● 気質の現れ

- * 幼少期には中心となる基本気質が顕著に現れます。
- * 児童期・青年期を過ぎると、眠っていた他の気質が目覚めます。
- * 大人になると、場面や相手ごとに気質を使い分ける様になります。
- * 気質の使い分けは、繰り返すことで「癖」になり気付かなくなります。
- * 過去に過度な「使い分け」を強いた方は、幼少期とは全く違って見えます。

● 気質の洗い出し(P研独自のメソッド)

- * 基本気質を表現し開示すると、快感と共に自分自身への共感が生まれます。
- * 内在する他の気質を体感すると、他者への理解が深まり共感が生まれます。
- * メンバー相互の気質を理解すると、見違えるような一体感が生まれます。
- * 気質のもつ特性を活かせば、チーム内の役割分担がより明確になります。

ビジネスマン必須のテーマ
賢者たちが受け継いだ「気質（体液論）」のエッセンス



***** 最強の組合せ *****

チームビルディング 「P/N比改善セミナー」

最新の「ポジティブ心理学」からエッセンスを抽出し、ポジティブ(P)とネガティブ(N)のバランス(P/N比)の改善に挑みます。チームカアップをサポートする、マネージャー必須のテーマです。

気質からのアプローチ

【概要】 終日(8時間/休憩を含む)

<気質とは>

- ・ 幼児期の行動と基本気質
- ・ 四大気質の概念

<自身の気質>

- ・ 気質チェック(セルフチェック)
- ・ 気質判定と修正(360度チェック)
- ・ 各気質の特性と傾向(感情・思考・行動)

<気質体験>

- ・ 気質の洗い出し(気質の表現)
- ・ 共存する気質と場面对応
- ・ 気質とマネジメント(人材育成・役割)

<まとめ>

- ・ 気質を認める(相互理解・得意を活かす)

【備考】(企業単位のクローズドです)

- ※ 事前に参加者数名へのインタビューを実施させていただきます。
- ※ 特定のテーマを前提にしたアレンジを加える事も可能です。
- ※ その他何なりとご相談下さい。可能な限り対応致します。

【費用】 参加人数: Max25名(事前インタビュー1回を含む)

- ※ 費用一式: ¥300,000-(税別)/講師料, TEXT, 機材費, 込
- ※ 会場費等は含んでおりません。
- ※ カスタマイズ費用は頂いておりません。

● 四大気質

気質は、多血質・胆汁質・憂鬱質・粘液質の四つに大別されます。殆どの人は中心となる基本気質をもち、それ以外にも、いくつかの気質を少しづつ持っています。

● 気質の判断基準

一つは、反応の速さや表現力(発散)。もう一つは、観察力や学習性の吸収力(凝縮)です。この二軸でマトリクスを構成すると、4つの気質が見えてきます。

● 気質の理解と人材育成

基本気質は変わりませんが、大人の場合、場面に合わせて持ち合わせた他の気質が現れます。その傾向を互いに理解し合う事で、共に場面对応の修正が可能になります。認め合えた時に、各自のもつ潜在能力が最大限に発揮されます。

<多血質(風の気質)>

陽気で反応が速く軽快です。自由な発想でアイデアも豊富ですが、物事を深く考えず、周囲に流される一面があります。

<胆汁質(火の気質)>

活発で反応が速く、考えも明確です。強いリーダーシップを発揮しますが、妥協を許さず、頻繁に感情が爆発します。

<憂鬱質(地の気質)>

反応はゆっくりですが、思慮深く堅実です。自信が持てず、表現も控えめですが、痛みが判る優しさがあります。

<粘液質(水の気質)>

にこやかで物事に動じない安定性があります。ゆっくりですが、粘り強く物事に取り組みます。

【気質について】

気質(テンパメント)は、紀元前4世紀頃、ヒポクラテスが「体液論」として発想し、後にガレノスが医学の基礎として発展させた概念です。近年では「シュタイナー教育」として知られるR.シュタイナーが、独自の教育論として気質教育を展開した事でも知られています。私も過去25年間運営した幼児サークルを通して偶然「気質」と出会い、人材育成における「気質」の有用性を実感しました。その気質の概念をシンプルな類型と身近な特性に整理し、チームビルディングに応用したものが、この「気質からのアプローチ」です。五感と運動感覚が刺激され、誰もが深く共感できるメソッドを組み立てました。古くて新しい「気質」の概念は、チーム・パフォーマンスを最大限に高めたいリーダーにとって、大きな武器になると確信します。/P研代表 今井健二



office@pken.jp

合同会社P研センター (Positive Staff Training Center)

〒214-0038 川崎市多摩区生田 3-19-3-205 [mail] office@pken.jp [Web] <http://pken.jp>